

# 平成26年度 水資源功績者 功績概要

都道府県名: 佐賀県

氏名: 片瀨 弘晃 かたふち ひろあき

## 地 域

功績者の片瀨氏が活躍されている白石町は、佐賀県の南西部の白石平野に位置し、平成17年に旧白石町、旧福富町、旧有明町が合併し誕生しました。白石町西方の杵島（きしま）山系から東方へ広がる広大な白石平野は、中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地で、米・麦、野菜、施設園芸等の農業好適地帯となっています。この白石平野では、これまで農業用水などに地下水を利用しており、これに伴う地盤沈下により、最も沈下の大きいところで、ここ50年余りで約1.2メートルを超え、早急に地下水から表流水へ水源の転換が必要となっていました。

## 略 歴

平成11年	3月～平成16年12月	有明町長
平成17年	2月～平成25年2月	白石町長
平成11年	3月～平成25年3月	(財)嘉瀬川ダム対策基金副理事長 嘉瀬川ダム対策協力会副会長
平成20年	4月～平成26年3月	佐賀県土地改良事業団体連合会会長
平成23年	2月～平成26年3月	白石土地改良区理事長

## 功績内容

- 地下水依存から表流水へ水源の転換を図るため、白石町長就任後（合併前の有明町長時を含む）から嘉瀬川ダムの建設に積極的に協力されるとともに、水源地域の振興等を図るため、財団法人嘉瀬川ダム対策基金（副理事長）を通じたハード面の支援を推進されてきました。
- 農業基盤整備にも尽力されており、白石土地改良区理事長として白石平野の用水供給等に寄与されるとともに、佐賀県土地改良事業団体連合会会長の要職を務められ、農業農村整備の普及・指導・教育等にあたられました。
- 嘉瀬川ダム対策協力会副会長として、下流受益地域と水源地域間の上下流交流のほか、水源涵養（植樹や環境整備）、ソフト面の水源地域振興に努力されました。

### 【地下水の汲み上げと地盤沈下】

深井戸からの揚水



抜け上がった農業倉庫



### 【嘉瀬川ダムと分水工からの放流】

水を湛える嘉瀬川ダム



福富3号分水工(H24.6.1)

